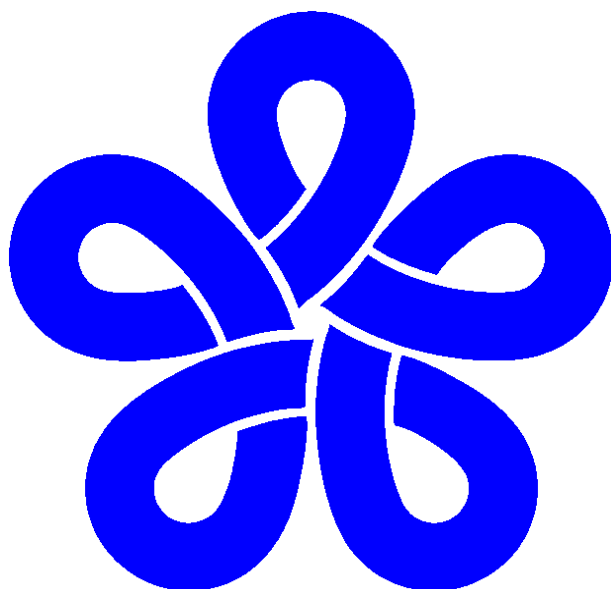


令和6年1月
福岡県議会ハワイ州議会友好訪問団
報告書



令和6年1月14日～19日

福岡県議会

福岡県・ハワイ州友好促進訪問団について

1 概要

福岡県とハワイ州は 1981 年に姉妹提携宣言、福岡県議会とハワイ州議会は 1982 年に国際友好親善促進の盟約締結以来、40 年以上の長きにわたり様々な分野で互いに交流を重ね、強固な信頼関係を築いてきた。

今回の訪問は、長年の友好関係をさらに発展させるための州議会への訪問とともに、前年度（令和 5 年 4 月）に本県とワンヘルスの推進に関する覚書を締結したハワイ大学との意見交換を目的としたもの。

ハワイ州知事及びハワイ州議会上院・下院への表敬訪問、意見交換を行った。ハワイ州議会の開会式では、訪問団が来賓として紹介され、長年にわたる両県州の友好交流に議場から温かい拍手が送られた。

また、ハワイ大学とワンヘルスに関する意見交換を行うとともに、福岡県人会、在ホノルル日本国総領事館との懇談会を実施し、福岡県とハワイ州の交流促進について意見交換を行った。

2 期間

令和 6 年 1 月 14 日（日）～ 19 日（金）

3 訪問団

福岡県議会	議長	香原	勝司
九州の自立を考える会	会長	藏内	勇夫
福岡県議会自民党県議団	会長	松尾	統章
福岡県議会民主県政県議団	会長代理	原中	誠志
福岡県議会新政会	会長代理	堀	大助
福岡県議会議員		秋田	章二
その他参加議員	6 名		
（随行）議会事務局長	ほか 3 名		

【福岡県とハワイ州の交流状況】

1 福岡県とハワイ州の姉妹提携

1980年（昭和55年）9月に、ハワイのアロハウィーク・フェスティバルに「博多祇園山笠」が参加し、また「福岡県物産展」が同時に開催され、両県州の友好促進の気運が盛り上がり、それぞれの議会において姉妹提携関係促進の議決がなされた。

1981年（昭和56年）に福岡とホノルル直行便が就航し、両県州の友好親善の気運が一層盛り上がり、同年9月25日ハワイ州政府において、当時のジョージ・アリヨシハワイ州知事と亀井光福岡県知事により、福岡県・ハワイ州姉妹提携宣言文の調印が行われた。これは両県州にとって、初めての海外の地域との提携となった。

2 福岡県の海外移住及びハワイ州にある福岡県人会について

（1）海外移住

1885年（明治18年）ハワイ王国（当時）と日本政府は移民協定を結び、日本から官約移民（政府間の協約による移民のこと）944人をハワイへ送り出した。同年の第2回官約移民には、福岡県からの移住者129人が含まれ、これが福岡県人初の海外移住となった。その後、アメリカ本土や中南米へ拡大した。

戦前（明治32年～昭和16年）及び戦後（昭和27年度～平成5年度）の福岡県から海外への移住者数合計は、全国第4位。

4 訪問概要

【1月15日（月）】

太平洋津波博物館視察（11：00～）

【施設概要】

1946年と1960年に大きな津波に襲われたハワイ島ヒロにあり、津波がヒロの人々の生活と街に与えた影響や復興について、歴史を学ぶことができる。

当日は、博物館の都合により急きょ閉館となっており、展示等を視察することはできなかった。



ハワイ島（ヒロ）県人会及びコナ県人会との交流会（17：30～）

【コナ県人会概要】

設 立：1967年

会員数：116名（82世帯）

1981年に福岡県・ハワイ州姉妹提携。1985年 官約移民100周年記念式典。2017年に県人会設立50周年記念式典。

ハワイ島（ヒロ）福岡県人会会長ならびにコナ福岡県人会の両県人会会員と懇談を行い、交流を深めた。

香原議長は「1982年に福岡県議会とハワイ州議会が国際友好親善促進の盟約を締結して40年以上もの間、皆様には色々とお力添えをいただきました。福岡県議会は、ワンヘルスの推進という人の健康、動物の健康、そして環境の保全を一体的に捉える活動に取り組んでおりますが、このワンヘルスの輪がハワイ島にも大きく広がっていくよう、ご理解、ご協力を心よりお願い申し上げます」と挨拶した。

ハワイ島県人会会長代理からは、「福岡県が、我々が福岡に行く機会を与えてくれることにとても嬉しく思います。県人会ができてから長い時間が経っていますけれども、こうやって繋がっていただけることにとても感謝しております」と挨拶があった。

コナ県人会会長からは、「今回の皆様の訪問で、福岡とハワイとの間で育まれてきた友情の絆がより強いものになると思っております。改めて、私たちの永続的な友情に感謝いたします」と挨拶がなされた。



（記念品を贈呈）



(交流会の様子)



(ハワイ島県人会・コナ県人会の皆様との記念撮影)

【1月16日（火）】

ハワイ州知事表敬訪問（14：00～）

【ジョシュ・グリーン ハワイ州知事略歴】

- スワースモア大学で学士号を取得し、ペンシルバニア州立大学とピッツバーグ大学で研修医となる。その後、国民健康保険隊に入隊し、2000年にハワイに駐在。ハワイ島の地方の病院や診療所で、家庭医・救急医としてライフワークを開始。ハワイ医師会から医師賞を2度受賞しており、最近では2022年のCOVIDパンデミック時のリーダーシップとサービスに対して受賞している。
- 2004年～2008年ハワイ州下院議員、2008年～2018年ハワイ州上院議員を務める。州議会議員として、多数派のフロアリーダーを務め、保健委員会と人間福祉委員会の委員長を務める。特に、自閉症スペクトラムの子どもたちにケアを提供する「ルーク法」や、タバコと電子タバコ製品の販売法定年齢を21歳に引き上げた「タバコ・電子タバコ規制」を可決した功績がある。
- 2009年には「ハワイ・フィジシャン・オブ・ザ・イヤー」、2013年には「ハワイ・レジゲーター・オブ・ザ・イヤー」に選ばれている。
- 2018年～2022年ハワイ州第14代副知事を務める。
副知事としての優先事項は、ホームレスの危機、医療格差、州全体の医療スタッフ不足、手頃な価格の住宅の不足対応など。
2020年のCOVID-19パンデミックの発生に伴い、州のCOVID-19リエゾンに指名され、ハワイでのコロナウイルスの蔓延を抑制するためのリーダー的存在を担った。

【表敬概要】

ハワイ州のジョシュ・グリーン知事を表敬訪問した。

グリーン知事は、「福岡県とハワイ州との関係は、ハワイ州が持つ姉妹都市関係の中でも一番強いものだ」と確信しております。今後は、ワンヘルスに関して協力していこうと両県州が考えており、非常に楽しみです」と挨拶された。

香原議長は、昨年マウイ島で発生した山火事で亡くなられた方への弔意を伝えるとともに、「ぜひとも近い将来、福岡県とハワイ州との間で、ワンヘルスという文言を入れた覚書を結ばせていただきたいと心より願っております。引き続き、両県州の友好交流に深いご理解と格別のご配慮、そしてご協力をお願い申し上げます」と挨拶したところ、グリーン知事からは、「ぜひワンヘルスを一緒に取り組むということを書面化しておくべきだと思います」との前向きな回答をいただいた。



グリーン知事とともに

ハワイ州議会上院・下院議長合同表敬訪問（14：45～）

【訪問先概要】

ハワイ州議会は、下院：51 議席、上院：25 議席両院制で、76 名の議員が所属されています。なお、議場はオアフ島ホノルル市にある「ハワイ州議会議事堂」です。

ハワイ州議会の前身は、1840 年の「ハワイ王国憲法」で創設。その後、1894 年のハワイ王国の崩壊、ハワイ共和国の立法機関を経て、1898 年にアメリカ合衆国に併合。ハワイ準州の立法機関を経て、1959 年にアメリカ合衆国 50 番目の州として正式に加盟。それに伴い、米国議会が「ハワイ州承認法」を可決したことによってハワイ州議会が設立されました。

この時（1959 年 8 月 21 日）、ハワイ州選出の連邦上院議員になったのがダニエル・K・イノウエ上院議員です。

ハワイ州議会ですが、「ハワイ州憲法」第 3 条第 10 項により毎年 1 月の第 3 水曜日の午前 10 時に通常会期として招集されなければならないと規定されています。

この招集日に併せ、毎年、上院議長と下院議長から福岡県議会議長宛に「招聘状」が届けられます。そして、この「招聘状」に基づき、県議会では本会議において「議員派遣の件」が議題として提案されます。議決後、福岡県議会から訪問団が生まれ、議員派遣が決まります。

州議会の招集日（初日）には、ハワイ全土から様々な団体がロビー活動のため議事堂に集まり、さしずめフェスティバルの様相です。

対応者略歴：①ロナルド・コウチ ハワイ州上院議長

カウアイ州議会議員を 1983 年から 2005 年まで務める。2010 年ハワイ第 7 地区から選出。2012 年ハワイ第 8 地区から選出。2013 年～2014 年副議長就任を経て、2015 年 5 月上院議長に就任

②スコット・サイキ ハワイ州下院議長

1994 年ハワイ第 26 地区から選出 2017 年 5 月に下院議長に就任。

【表敬内容】

ハワイ州議会のロナルド・コウチ上院議長とスコット・サイキ下院議長を表敬訪問した。

コウチ上院議長から「福岡とハワイの間の絆は、非常に強固になっていると確信しております。私たちが共有している友情と知見をもって、非常に強いパートナーシップができていると考えております」と挨拶があった。

サイキ下院議長からは、「私たちが福岡との姉妹関係を重要視している理由のひとつは、皆さんが一生懸命誠意をもってパートナーシップを構築しようとしていただいていることです。福岡とハワイの間の昔からの繋がりによって、今の信頼関係を享受できていると思います」と挨拶があった。

香原議長は「福岡県議会とハワイ州議会との間で、ワンヘルスという文言を入れた覚書を締結させていただきたいと思っております。ワンヘルスを軸として、次の時代の子どもたちのために両県州で協力していきたいと思っておりますので、ぜひともご理解とご協力をよろしくお願いいたします」と挨拶した。



(コウチ上院議長挨拶)



(サイキ下院議長挨拶)



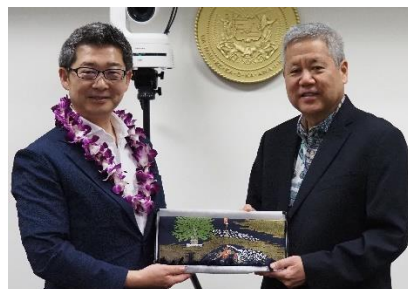
(表敬の様子)



(議長挨拶)



(コウチ上院議長・サイキ下院議長に記念品を贈呈)



(両院議長・議員との記念撮影)

ハワイ大学との懇談会（18：30～）

ハワイ大学のサンドラ・チャン教授、町 淳二教授と懇談し、意見交換を行った。

香原議長が「これからワンヘルスがハワイでも進んでいき、福岡県からも高校生や大学生がワンヘルスを通じてハワイに来てくれるようになると思います。今後とも、福岡県とハワイ州におけるワンヘルスの推進を大きなミッションとして取り組んでまいります」と挨拶した。

藏内会長は「福岡県とハワイ大学との MOU 締結のためにご協力いただき感謝いたします。MOU 締結を機に、ワンヘルスを核とした福岡県とハワイ州との交流がさらに進むことを期待しております」と挨拶した。

チャン教授からは「ワンヘルスに関してこれだけ真剣に取り組んでいただいていることに感謝いたします。今後このコラボレーションをさらに充実したものにしていきたいと思っております」と挨拶がなされた。

懇談会は終始和やかな雰囲気で行われ、ワンヘルスに関する連携の強化に向けて有意義な時間となった。



（議長挨拶）



（藏内会長挨拶）



（中央左：チャン教授、中央右：町教授）



（懇談会の様子）

【1月17日（水）】

ハワイ州議会開会式出席（10：00～）

【視察内容】

ハワイ州議会開会式を上院、下院に分かれて、それぞれ傍聴した。

開会式では、訪問団が来賓として紹介され、長年にわたる両県州の友好交流に議場から温かい拍手が送られた。

ハワイ州議会におけるこうしたもてなしも、永年にわたる福岡県議会とハワイ州議会との交流の積み重ねである。

特に、福岡県議会とハワイ州議会との交流の歴史において欠くことのできない人物がバートランド・ヨシト・コバヤシ氏である。

バート氏は約28年間に亘りハワイ州上院議員・ハワイ州下院議員を務められ、ハワイと日本との国際交流や協力の推進に積極的に取り組み、長期的な日米関係強化を念頭に、福岡県の姉妹都市・姉妹県関係をはじめとする地方自治体間の交流拡大等、草の根レベルのパートナーシップの促進に尽力された。





ハワイ県人会・在ホノルル日本国総領事館との交流会（18：00～）

井澤 幹生 在ホノルル日本国総領事館首席領事

1992 年 在英国日本国大使館 1993 年、2006 年 在イラン日本国大使館、
2010 年 在オーストラリア日本国大使館 2017 年 在アフガニスタン日本国大
使、2022 年から在ホノルル日本国総領事館 首席領事

ハワイ福岡県人会：1957 年に設立し、会員数は 172 世帯 318 名。1868 年 日本
人最初の海外移住（ホノルル港）

1885 年 福岡県人の最初の海外移住（1894 年まで約 29,000 人が来布）、1957
年 県人会設立、1981 年 福岡県・ハワイ州姉妹提携

1985 年 官約移民 100 周年記念式典、 2017 年 ハワイ福岡県人会 60 周年記念
式

ハワイ福岡県人会会長をはじめとするハワイ福岡県人会会員ならびに、在ホ
ノルル日本国総領事館の井澤幹生首席領事との交流会を行った。

香原議長が「福岡県議会とハワイ州議会との間で国際友好親善促進の盟約が
締結されてから、これほど長く交流関係が続いていることは、県人会の皆様の
お力添えあってこそだと思います。これからもどうか未永くこの関係を続けて
いきたいと願っております」と挨拶した。

ノムラ会長からは、「福岡県の皆様には、ハワイ州やハワイ福岡県人会の長
期にわたるサポートを頂戴し感謝申し上げます。これからもハワイと福岡の絆
を継続するために、福岡県人会としてもサポートとしていきたいと思ってお
ります」と挨拶がなされた。

また、井澤首席領事から「長年にわたる福岡県議会とハワイ州議会の友好関
係は、様々な取り組みを通じ、大きな成果を得ていると認識しております。マ
ウイ島の火災や能登半島地震が発生しましたが、これらの災害に対して、日本
とハワイが相互に協力し共に立ち上がっていくことが、より強固な関係を生み
出すのではないかと思います」と挨拶があった。





(交流会の様子)



(ハワイ県人会の皆様・井澤首席領事との記念撮影)

【福岡県にルーツを持つハワイの3偉人】

福岡県からハワイに移住した 2 世、3 世の中から、歴史的な偉人が誕生しています。

○ジョージ・アリヨシ元ハワイ州知事

アリヨシ氏はホノルル市生まれですが、福岡県豊前市にルーツを持つ日系 2 世です。1944 年に高校を卒業後、米陸軍情報部日本語学校に入学、終戦後の東京で進駐軍の通訳として勤務しました。

1952 年には「ミシガン大学法科大学院」において、法務博士号を取得。大学卒業後、ハワイで弁護士業務に携わります。

1954 年 9 月に州下院議員選挙で初当選。その後、1958 年に州上院議員に当選。翌 1959 にハワイが州に 昇格した後も、州上院議員に選出されます。1970 年、副知事に就任。

そして、1974 年、全米初の日系人として州知事に当選。日系アメリカ人として、またアジア系アメリカ人としても初めて州知事となります。なお、当時は任期制限がなかったため、1986 年まで、在任期間は最長の 12 年を数えました。

任期中の 1981 年、『福岡県とハワイ州の姉妹州提携』を締結。2021 年には「姉妹州提携 40 周年」を迎えています。

退任後は、「ハワイ福岡県人会」の役員を務められ、何度も福岡県を訪問されるなど、ハワイ州と福岡県の友好交流に尽力されました。

90 歳を過ぎてからも、ハワイ州と福岡県の友好交流を精力的に続けられていましたが、2026 年 4 月 19 日、他界されました。享年 100 歳。

改めて、アリヨシ氏のご遺徳を偲ぶとともに、氏の意思を引き継ぎ、ハワイ州と福岡県との友好交流を促進していかなければなりません。



○ダニエル・k・イノウエ上院議員

日系二世。ルーツは祖父母と父親が八女郡上陽町（現八女市）からの移民で、日系2世としてハワイで生まれました。

第二次世界大戦中、日系人は「敵性国民」として強制収容所に送られました。こうしたなか、イノウエ氏は米国への忠誠を示すため陸軍に志願。日系人部隊の「第442連隊戦闘団」に配属され、日系米軍人として欧州戦線に従軍。イタリアで右手を失いますが、その勇敢な戦いぶりが英雄と称えられ、パープルハート章を受けられています。



1959年8月21日、ハワイが米合衆国の50番目の州になって以降、ハワイ州選出の連邦上院議員として活躍。議員退任後も、日系人の地位向上や日米関係の強化に生涯を捧げられました。

2012年12月17日に88歳で死去。当時のオバマ大統領が「米国は今日、真の英雄を失った」との追悼声明を出しています。2017年4月27日、氏の功績を称えるため、オアフ島の「ホノルル国際空港」は「ダニエル・K・イノウエ国際空港」と名称が変更されています。

イノウエ氏の存在はハワイの日系人の憧れであり、誉であるとともに、ハワイと日本、ハワイと福岡県をつなぐ大きな絆となっています。

○エリソン・オニヅカ氏

オニヅカ氏は、1946 年 6 月にハワイ島コナ生まれの日系三世。両親はともに日系二世で、父は福岡県うきは市出身です。日本名は鬼塚承次。米国空軍の大佐で、「アメリカ航空宇宙局」の宇宙飛行士です。

コーヒー農園を営む父親から、幼少期よりダニエル・k・イノウエ上院議員、日系人部隊の「第 442 連隊戦闘団」の話しを聞き、米国空軍で活躍することを意識し始めました。

1964 年、ハワイ島「コナワエナ高校」卒業後、「コロラド大学」入学、航空宇宙工学を専攻。その後、米国空軍予備役将校訓練課程を受けます。

1969 年、大学卒業後、空軍エンジニアを務めながら、アポロ 11 号月面着陸計画に影響され、宇宙飛行士を目指す。

1978 年「スペースシャトル計画」第一期飛行士候補に応募、8,079 人の志願者から選出され、スペースシャトル・チャレンジャーの乗組員として選抜されます。

そして、1986 年 1 月 28 日、「STS-51-L ミッション」でスペースシャトル・チャレンジャー号に搭乗しますが、離陸後の爆発事故により 39 歳で殉職。殉職時の階級は中佐でしたが、のちに大佐に特進。

オニヅカ氏の功績を称えるため、ハワイ島の「コナ国際空港」は、2017 年 1 月に「エリソン・オニヅカ・コナ国際空港」に名称が変更されました。

3 名とも、ハワイ福岡県人会の人々のみならず、日系移民やご子孫の人々たちにとっても偉人として称えられており、誇りにされています。

ハワイに移住した先人たちの苦勞と成功に想いを馳せるとともに、福岡県にルーツを持つ偉人たちの功績を継承していかなければなりません。

【総括】

○ハワイ県人会の皆様は、長年にわたりハワイ社会で信頼を築き、福岡県との交流を支えてくれました。こうした海外県人会は、文化交流だけでなく、青少年交流、経済交流、観光振興、県産品の販路拡大においても大きな役割を果たす存在です。

今後福岡県は海外県人会との連携をより戦略的に位置づけ、若者の派遣、現地での福岡県PR、県産品のテストマーケティング、現地企業・大学との橋渡しを担ってもらうことが可能ではないかと考える。海外県人会とのネットワークを、福岡県の重要な財産として再評価するべきではないでしょうか。

○ハワイでは、観光が地域経済を支える一方で、物価高や宿泊費の高騰、地域文化や生活環境への影響など、観光地としての課題も抱えています。

そこから学ぶべきこととして、観光客数を増やすだけでなく、地域の文化、自然、暮らしを守りながら、地域に利益が還元される持続可能な観光を目指す必要がある。

福岡においても、都市部への一極集中型の観光だけでなく、県内各地域の歴史、食、自然、文化を生かし、長期滞在や周遊につながる観光施策を検討すべきと考える。空き家や地域資源を活用した滞在型観光、地域再生と一体となった観光の可能性を研究する必要があると実感しました。

令和6年1月福岡県議会ハワイ州議会友好訪問団 日程

日程	時 間	行 程
1月14日 (日)	16:30	福岡空港集合
	16:45	結団式
	17:50	福岡空港発(NH264)
	19:25	羽田空港着
	22:15	羽田空港発(NH186)
		《日付変更》
	10:05	ホノルル空港着
	13:30	ホノルル空港発(HA308)
	14:18	コナ空港着
	18:00	夕食 (コナ泊)
1月15日 (月)	11:00	【太平洋津波博物館】
	17:30	【ヒロ・コナ県人会との交流会】 (コナ泊)
1月16日 (火)	7:00	ホテル発
	9:25	コナ空港発
		ホノルル空港着
	12:30	昼食
	14:00	【ハワイ州知事表敬訪問】
	14:45	【ハワイ州議会上院・下院議長合同表敬訪問】
	18:30	【ハワイ大学との懇談会】 (ホノルル泊)
1月17日 (水)	9:00	ホテル発
	10:00	【ハワイ州議会開会式】
	11:30	昼食
	18:00	【ハワイ県人会・在ホノルル日本国総領事館との交流会】 (ホノルル泊)
1月18日 (木)	10:15	ホテル発
	13:15	ホノルル空港発(NH185) 《日付変更》 (機中泊)
1月19日 (金)	17:40	羽田空港着
	19:20	羽田空港発(NH271)
	21:20	福岡空港着